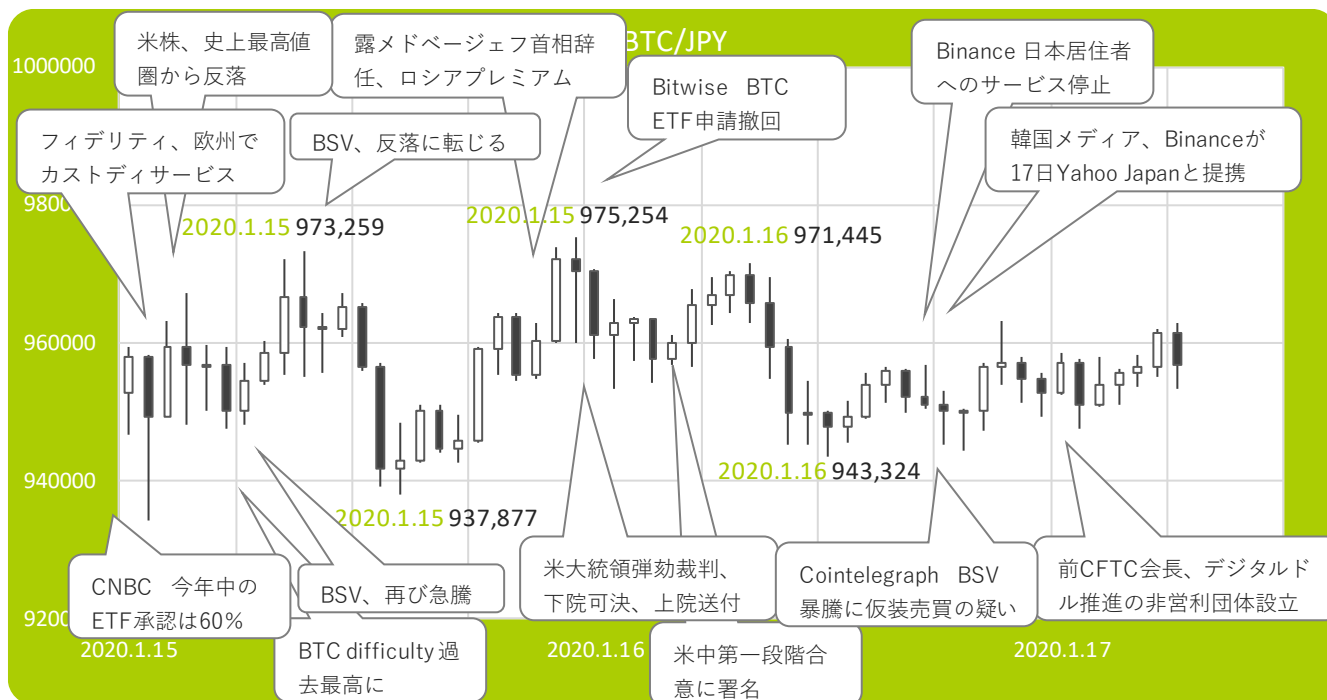


【上値が重く下値は堅いビットコイン、どちらにブレークする？】



通貨	BTC	ETH	XRP	BCH	LTC
価格	961,328	18,081	25.3	35,978	6,374
前日比	▼0.4%	▼0.8%	▼2.4%	▼2.8%	▼0.5%

Review

上値を抑えられる

昨日のBTC相場は高値圏のみ合い。97万円台で上値を抑えられる一方で、下値もじりじりと切り上げている。BSV・BCHの上昇もあって週明けに90万円を突破したBTC相場だが、BSVの暴騰やDifficultyが史上最高を記録こともあり97万円台、米ドルで8900ドルに達した。しかし異常な上昇で相場を牽引したBSVが反落に転じると93万円台まで下押しした。しかしロシアでメドベージェフ首相が退任するとロシア国内のBTC価格にプレミアムが発生、再び上値をトライした。しかしBitwiseのETF申請取り下げや米大統領弾劾案の下院可決もあり上値を重くしたが、米株が史上最高値を更新する中、再び97万円台を付けた。しかしここで上がり切れずにいるとBinanceの日本へのサービス停止やBSVへの仮装売買疑惑もあり再び上値を重くしたが、NYダウが史上最高値で高値引けする中、底堅い推移を見せている。

Outlook

NYダウ堅調

本日のBTC相場は上値余地を探る展開を予想する。心理的節目となる100万円や9000-9100ドルに位置する200日移動平均線に上値を抑えられているBTC相場だが、BCH・BSVの上昇により1か月遅れて半減期を迎えるBTCへの先高観は根強く、底堅い展開が続いている。一方、FRBが供給したベースマネーが資産インフレを促す流動性相場に加え、目下の懸念であるイラン情勢と米中問題に一区切りがつき、NYダウは3万ドルを窺う勢いだ。こうした中、BTCの上昇余地はまだあると考えている。

著作権表示©2019 FXcoin 株式会社

本レポートは一般的な情報提供を目的に作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。レポート内のいかなる情報又は意見も、仮想通貨の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではありません。本レポートは予告なしに内容が変更されることがあります。本レポートは著作物であり、著作権法により保護されております。当社の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家へ配布することはできません。